

MCA無線機簡易マニュアル

1. 基本的な使用方法



①使用前にアンテナの取り付けがされているか確認すること

※取り外しができるが、基本、取り付けたら外さない！！



②電源の入れ方

赤い電源マークの付いたボタンを長押し(2～5秒程度)

※電源を切る時も同じボタンを長押し。

③通話方法

無線機側面の「プッシュトーク」ボタンを押すことで、通話可能となる。

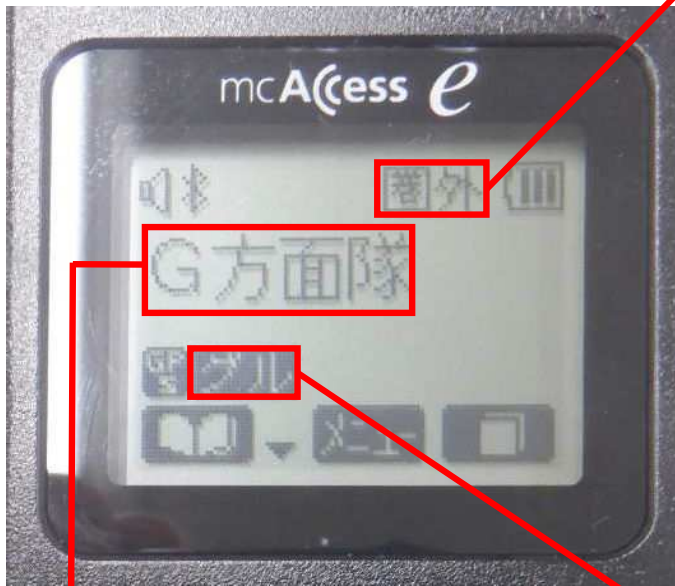
※通信先を選ばず通話を開始した場合は、ディスプレイ中央に表示された無線機もしくはグループへ自動でつながる。

ディスプレイ及びボタン部分拡大図

※重要なボタンについては後半の説明で出てくるため、拡大図へ記載の番号で、どのボタンか確認すること

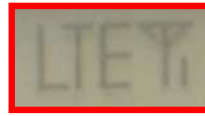
2. 起動後の確認事項や通信先の変更について

(起動直後の画面)



③電波状況の確認

「圏外」表示の場合、通話不可。
下図のような「LTE」、アンテナのどちらかの表示で通話可能。
※両方でも問題なし



「LTE」がdocomo回線
「アンテナ」がMCA回線

※起動直後は基本的に「圏外」となる。
およそ 2～5分ほどで通話可能になる。

2～5分経っても「圏外」の場合、
電波が届かない位置であるため、
以下の場所で再度通信を試みる

- (1) 屋内で通じなかった場合はまず屋外
- (2) 周辺に障害物のない広場等
- (3) 建物の屋上階

④通信先の確認

画面中央部分に表示されている文字は、
通信先の名称となる。
通常、使用するのはグループ通信で行う
ため、表示の文字の初めが「G」である
か確認。

※Gでない場合は、個別の無線機への連絡と
なるため必ず「G〇〇」（〇〇には地区名な
どが入る）を確認してから通信を行う。

自主防災会と方面隊で連絡を取る場合に
は、「G池新田」などの所属地区のグループ
の表示にすること。

⑤通信モードの確認

通信モードが3つあり、画面表示
によりモードが確認できる。

個別通信では「個別」、
グループ通信では「グル」、
全体通信では「全グ」と
表示。

基本は「グル」で通信する。

※通信モードを変更したい場合は、
1ページの図に記載の
「②モードボタン」を押すこと
で、変更可能。

⑥通信先を変更する場合



別のグループへ通信を行う際に、左図の赤枠の通信先を変更
するには、まず、「③のボタン」を押し、画面が図①のよう
になる。「④の上下選択ボタン」を押すと図②が表示され、
局番号帳となるので、目当ての通信先を探してプッシュトークボタ
ン等を押して、通信先を選択する。

〈図①〉



〈図②〉



【使用にあたっての注意事項】

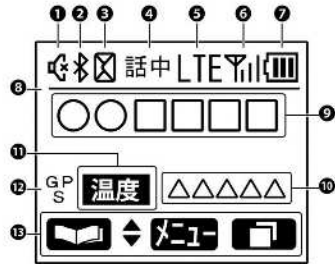
1. 無線機の電源は、使用後、切ってよいが、必ず充電をしておくこと。
2. 地震等の大規模災害時は必ず電源を入れておくこと。
3. 通信の際は、先に通話を開始した通信が優先される。例えば、個別通話中にグループ通話が入った場合では、先に通信を行っていた個別の通信が優先されるため、グループ通話が割り込みすることはできない。例外として、市の「指令局」による統制通信を行った場合は、通信中であっても統制通信が優先される。
4. グループ通話を受信する際は、通信したいグループに設定されている無線機は、自動で音声を受信する。
また、設定されていないグループとのグループ通話を行う場合は、発信側からの通話であれば、その通信がつながっている間は、グループ外であっても通話に加わることができるが、一度通話を切ってしまうと、発信側から、再度、そのグループへ通話を行わない限りは、グループ外の通話へ加わることはできない。
5. 個別通話、全グループ通話の場合、通話方法が「単信」と「複信」の2種類で自動振り分けとなる。
「単信」の場合、通信を受信した際に「ピピッ」と音が鳴り、自動で通話が開始される。この時は、片方が話しているときは片方がしゃべることはできないため注意。
「複信」の場合、通信を受信した際は、携帯電話の呼び出し音のような「プルル」と音が鳴るため、この時は自動でつながらないため必ず、側面のプッシュトークのボタンもしくは、ナンバーボタン左上の通話ボタンを押すようにすること。
6. 運用上、報告等をする際には必ず以下の連絡順を守ること。

市役所 ⇄ 方面隊 ⇄ 自主防災会

- ※基本的に市役所から直接自主防災会へ連絡をすることはない。
よほどのことでない限りは必ず方面隊を通して、連絡するので、自主防災会からも必ず方面隊を通して、連絡すること。
ただし、以下の場合はその限りでない。
- (1) 災害時の、人命の関わる救助等の要請で緊急性のある場合
 - (2) 通信障害等で方面隊との通信が途絶えている場合
 - (3) その他、緊急性が高く、必要と認められる場合
7. 通信料金等は従量制ではないため、平時においても訓練等で積極的に使用することが可能。

各部の説明

1. ディスプレイ表示部



①スピーカー／ミュートマーク

- 無線機モード時 点灯
- 電話機モード時単信通信中 点灯
- ミュート設定時 点灯

②Bluetooth

- マイク 1 接続済 点灯
- マイク 2 接続済 点灯
- Bluetooth ON 点灯
- Bluetooth OFF 消灯

③ユーザー表示／メール表示

- 主 : メインユーザー 点灯
(複数ユーザー待ち受け時に有効)
- 副 : サブユーザー 点灯
(複数ユーザー待ち受け時に有効)
- D : データ着信中 点灯
- M : メール着信時 点灯 (Mは満杯)

④無線回線状態

- 話中 : 通話不可時 点灯
(他局送信時、回線混雑時および発信規制中 他)
- 送信 : 無線送信中 点灯
- 通話 : 通話可能時 点灯
- 制限 : 単一无線ゾーン時 点灯
- グ× : 管外ゾーン在圏時 点灯
- 予約 : 予約時 点灯
- モニタ : 緊急モニタ受信時 点灯

⑤LTE 圏外／圏内表示

- LTE : LTE 圏内時 点灯
- LTE : LTE 圏外時 消灯

⑥MCA 圏外／圏内表示 (受信電界表示)

- 電界強度表示 (本数が多いほど強い)
- MCA 圏内時点灯、MCA 圏外時消灯

※⑤⑥ともに圏外の場合は「圏外」点灯

⑦電池／エコマーク

- 電池残量表示 (本数が多いほど残量が多い)
- 乾電池使用時 (残量は表示しません)
- エコモード時 (本数が多いほど残量が多い)

⑧受話音声表示

- 線表示あり : IP 経由音声再生時
- 線表示なし : MCA 経由音声再生時

⑨相手局表示

- 発信する相手局名称や、相手局の発信モード・個別番号・グループ番号を表示

⑩通信制限表示

- 通話制限時間を表示 (通信中はダウンカウント)
- 設定により、状態・在圏ゾーンなどに表示変更が可能

⑪温度警告／緊急表示／通信モード

- 温度 : 無線装置本体の温度上昇警告時 点灯
- 緊急 : 緊急状態時 点灯
- 解除 : 緊急解除状態 (緊急通報未実施) 時 点灯

発信する通信モードを表示

- 全グ : 全グループモード時
- グル : グループモード時
- 個別 : 個別モード時
- 電話 : 電話モード時
- 一斉 : 全グループ一斉モード時

⑫GPS マーク

- GPS : GPS 捕捉 OK
- GPS : GPS 捕捉 NG

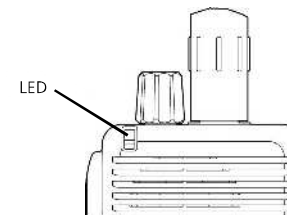
⑬ガイドキー表示

- キーを押したときの操作内容を表示 (画面ごとに内容が異なるので、詳細は操作方法で説明)

2. 操作部



3. LED 表示部



No.	ボタン名称	主な機能
1	[ガイドキー]	画面左下に表示されるガイドキーの操作 (局番検索、クリア、他)
2	[ガイドキー]	画面中央に表示されるガイドキーの操作 (メニュー、文字確定、他)
3	[ガイドキー]	画面右下に表示されるガイドキーの操作 (履歴、切替、他)
4	[音量ボタン]	待ち受け時: 登録内容の検索 通話時: 受話音量の調節
5	[電源ボタン]	電源の ON/OFF (長押し)、通話終了
6	[通話ボタン]	発呼
7	[戻るボタン]	元画面への移行
8	[セレクトボタン]	セレクト (取消含む) の送信
9	[モードボタン]	通信モード (全グループ/グループ/個別/全グループ一斉/電話) の切替
10	[0 鍵 ~ 9 鍵]	番号/文字の入力
11	[左移動ボタン]	*入力、カーソル移動 (左)
12	[右移動ボタン]	#入力、カーソル移動 (右)、キーロック設定 (長押し)
13	[ミュートボタン]	ミュート設定/解除 (長押し)
14	[プレストークスイッチ]	発呼および (プレストーク通信時) 音声送信
15	[ロータリースイッチ]	待ち受け時: 登録内容の検索 通話時: 受話音量の調節
16	[緊急ボタン]	指令局への緊急通報実施、緊急解除 (長押し)

No.	表示	端末の状態
1	緑点灯	送話中
2	緑点滅	セレクト・不在着信未確認
3	赤点灯	話中、圏外
4	赤点滅	話中 (ミュート状態)
5	橙点灯	予約中
6	橙点滅	Bluetooth マイク検索中、保守中
7	赤高速点滅	障害発生時

ポイント

- プレストークスイッチは、グループ通信などの片方向ずつ通話を行う単信通信時に使用します。通話を行う場合は、スイッチを押しながら話し、聞く場合はスイッチを離しておくことで音声が入ります。(プレストーク通信)
- 緊急機能を使用するには、別途サービス加入またはアプリケーションが必要です。

電池パックの取り外し・充電

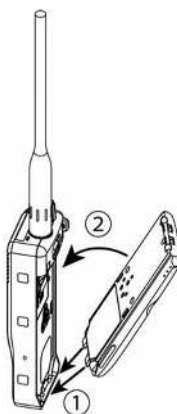
無線装置をご使用になる前に、以下の内容を確認してください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

専用の電池パック（オプション）を使用してください。

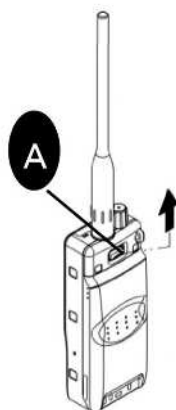
■ 取り付けかた

- ①電池パック下部の爪を図のように取り付けてください。
本体の下部に差し込みます。
- ②カチッと音がするまで電池パックを押し込みます。



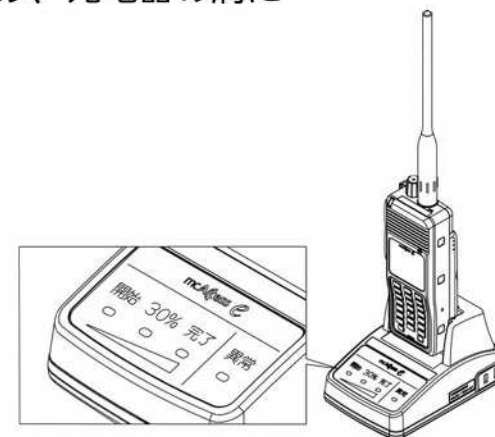
■ 取り外しかた

電池パックを外すときは、無線装置の電源を「OFF」にしてから行ってください。
A の部分を矢印方向にスライドさせて、無線装置本体から電池パックを外します。



充電のしかた

■ 電池パックを無線装置本体に取り付けているとき
無線装置本体を正面に向け、充電器の溝に合わせて差し込みます。

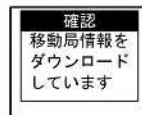


電源を入れる 無線装置を起動します。

- 1  キーを長押しする
約 2 秒間押してください。
- 2 無線装置の画面が点灯する



- 3 移動局情報が登録される
右記画面が表示され、移動局情報がダウンロードされます。
前回起動時から移動局情報に変更がない場合は、本画面は表示されません。



- 4 使用可能な状態になる
初期状態の待ち受け画面が表示されます。電池残量や電波の状態を確認してください。LTE の捕捉には時間がかかります。



ポイント

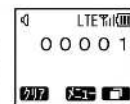
- ・電源を切るときは、再度  キーを長押ししてください。「See you!」というメッセージを表示し、電源が切れます。
- ・電池パックを交換する際は、いったん電源を切ってから交換してください。
- ・乾電池ケースを使用した場合には、エコモードで起動します。
- ・電源を切る前にキーロックを設定していた場合は、電源を再度入れたときもキーロックの設定が継続されます。
- ・待ち受け画面には、通信モード、発信先番号または名称、設定によって通信時限、在圏ゾーン、自局状態などが表示されます。
- ・その他、無線機モードを示すスピーカマークや本体の温度上昇を警告する温度マークが表示される場合があります。
- ・MCA 中継局設備に障害の場合は、画面に「制限」と表示されることがあります。
- ・画面に「グ×」と表示された場合は、個別通信しか行えません。

通信モードを切り替えて発信する

- 1  キーを押す
キーを押すごとに、通信モードが順次切り替わります。
全グループ→グループ→個別→電話→全グループ→…（システム定数で内容の変更可）
発信したいモードを選択してください。

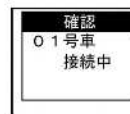


- 2 相手先番号を入力する
通信モードがグループまたは個別の場合は、テンキーを押して発信先の個別番号を入力してください。



-  キー（クリア）を押すと、入力中の番号の最後の数字が消去されます。さらに押し続けると、入力中の番号のすべての数字が消去されます。

- 3 プレストークスイッチを押す
表示中の番号に対して発呼します。



- 4 通信を開始する
通信接続が成功すると、「ビッビー」という音が鳴り、「通話」が表示されます。



- 画面に通話残時間が表示され、通話が可能な状態になります。

ポイント

- ・予め登録されている相手先に発信するときには、番号を入力せずに待ち受け画面から局番号帳を利用して相手先番号を選択することもできます。

- 5 通話を行う
プレストークスイッチを押しながらかお話ししてください。
「ビッ」という通話指示音が鳴り、「送信」が表示されたら、送話することができます。



- 6 通話を聞く
プレストークスイッチを離してください。
相手が送話を始めると、「話中」が表示され、相手の音声が入ってきます。
相手局の送話が終わると、「通話」が再度表示されます。



- 7 通話を終了する
 キーを押してください。通信接続を終了し、画面は待ち受け画面に戻ります。



ポイント

- ・通話キーで発呼した場合にも、プレストークスイッチを押しながらかお話しください。
- ・通信開始後に通話を行おうとした際に、送信権の獲得に失敗すると「プッププッ」という失敗音が鳴ります。その場合は、「話中」が表示されていないかどうかを確認後、再度プレストークスイッチを押してください。
- ・単信通信時は、誰も通話を行わない状態が 5 秒間継続すると、自動的に通信が終了します。
- ・通話制限時間が経過すると、通信が終了になります。制限時間の約 10 秒前に「ビッ」という終話予告音が鳴り、その後「プー」という終話音と共に通信が終了します。
- ・発着信を連続で行い、送信動作状態が長く継続すると、無線装置の温度が上昇します。このような運用をする、と、電池の消耗が激しくなります。
- ・温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示」（26 ページ）を参照してください。

『MCA無線(携帯タイプ)』機器操作 簡易マニュアル (第 1.0 版)

令和 4 年 4 月

通信方法 (個別通信モード)

【事前確認事項】

無線機本体の「電源」キーを長押しして電源を入れる(図:1)

画面が表示したらアンテナの立つ位置へ移動する(図:2)

※アンテナレベルが2本以上たつ場所が理想。

《自分から発信する場合》

1. 発信する (個別通信)

- ①「モード」キーを押し、「個別モード」にする
(ディスプレイ上に「個別〇〇〇〇」と表示される) (図:3)
〇〇〇〇は無線番号です。※履歴で前回通信した相手が表示されてます。
- ②「数字」キーで呼び出したい相手の局番号を入力する
※リスト参照
表示されている同じ相手と通信する場合は、そのまま③へ

- ③ 本体 左横の「プレスボタン」を1回押し、発信する
(ディスプレイに「接続中」と表示されるので、しばらく待つ)
・相手側につながると「ピッピー」と鳴り、液晶に「通話」と表示④へ

・つながないと「プッププ」と鳴るので、再度プレスボタンを押す。

- ④ 相手につながったら、「プレスボタン」を押しっぱなしにして
「ピッ」音が鳴ったら話し始める。
液晶のアンテナマーク横の表示が「通話」から「送信」と表示
【例】「こちら 901 〇〇課 ●● です。
902 ××課 応答願います」
※相手からの応答がない場合は再度③④を繰り返す。

- ⑤話し終わったら、「プレスボタン」を離し、相手の返答を待つ。
※それ以降は④～⑤の操作を繰り返しながら会話する。

《相手から受信する場合》

1. 受信する (個別通信)

- ①「ピポー」と鳴った後に、相手から話しかけられる。
・液晶には相手の無線番号が表示され「話中」と表示。
- ②相手の話が終わったら、プレスボタンを押しっぱなしにして
「ピッ」音が鳴ったら返答する。
【例】「はい こちら 902 ××課 ●●です。
901 〇〇課 ●●さん どうぞ」
- ③返答し終わったら、「プレスボタン」を離し、相手の返答を待つ。

※無通話状態が約5秒続くと回線が自動的に切れますので
再度、回線を接続して通信を行ってください。



図:1



図:2



図:3

通信方法（グループ通信モード）

【事前確認事項】

無線機本体の「電源」キーを長押しして電源を入れる(図:1)
画面が表示したらアンテナの立つ位置へ移動する(図:2)

※アンテナレベルが2本以上たつ場所が理想。

＜自分から発信する場合＞

1. 発信する（グループ通信）

- ①「モード」キーを押し、「グループモード」にする
(ディスプレイ上に「OOOG」と表示される) (図:3)
- ② 本体 左横の「プレスボタン」を1回押し、発信する
(ディスプレイに「接続中」と表示されるので、しばらく待つ)
・回線がつながると「ピッピー」と鳴り、液晶に「通話」と表示 ③へ

・つながないと「ブブブブ」と鳴るので、
再度プレスボタンを押す。

- ③回線がつながったら、「プレスボタン」を押しっぱなしにして
「ピッ」音が鳴ったら話し始める。

液晶のアンテナマーク横の表示が「通話」から「送信」と表示

【例】「こちら 901 OO課 ●● です。

902 ××課 応答願います」

※相手からの応答がない場合は再度③④を繰り返す。

- ④話し終わったら、「プレスボタン」を離し、相手の返答を待つ。

※それ以降は④～⑤の操作を繰り返しながら会話する。

＜相手から受信する場合＞

1. 受信する（グループ通信）

- ①グループ通信を着信すると他局の通話が聞こえます。
・液晶には送信している無線番号が表示され「話中」と表示。
- ②他局から呼ばれた場合は、相手の通話が終わったら「プレスボタン」を押しっぱなしにして「ピッ」音になってから返答する。

【例】「はいこちら 902 ●●です。

×××感度良好です。どうぞ」

- ③返答し終わったら、「プレスボタン」を離し、相手の返答を待つ。

※無通話状態が約5秒続くと回線が自動的に切れます。

・他局が通話中の場合、アンテナマークの横に「話中」と表示。

・送信可能な状態ではアンテナマーク横に「通話」と表示。

もし操作が途中で分からなくなった時は

「戻るキー」を何回か押すと最初の画面に戻ります。



図:1



図:2



図:3

【充電の仕方】

電源コードをコンセントに接続し、無線機本体を正面に向け、充電器の溝にあわせて差し込みます



充電状況に応じてランプが緑色に順次点灯していきます